

関ヶ谷自治会ホームページではカラーでご覧いただけます

自治会防災訓練実施

9月1日

訓練内容は昨年と同じ

- ①班長と地区長を中心に全戸の安否確認をする
- ②その結果を自治会と西小に設置した災害対策本部に報告・意見交換を行いました。
- ③「防災VG」は昨年独自の安否確認を行いました。今年は自治会と一体となって安否確認を行いました。結果は左記の表の通りです。

- ④⑤回を重ねるさまの理解も深まる中で、ほぼ同様に終わりました。
- ⑥訓練としては、地区長と班長間の連携が必ずしも十分でなかったところも散見出来ましたが、これは今後の対応で解消できるものと思えます。
- ⑦集計結果から読み取れることは、訓練参加者と安否表示の数が減少しています。要因の一つは更なる高齢化と推測できますが、少し若い人でも見る必要がありそうです。
- ⑧地道な自治会訓練ですが、災害時必ず役立つものと確信し、今後も続けて参ります。皆さまの理解と協力をお願いたします。



	タオル or 消火器 (件)	1分-1分応答あり(件)	お留守	訓練参加者 (人)
平成28年	764	207	147	443
平成27年	794	170	119	498
昨年比	96% (-30)	121% (+37)	123% (+28)	88% (-55)

報告会での質問・回答について次の通りです。

- Q1: 開催日は暑いのでこの時期は無へても良いのではないかと?
- A1: 9月は「防災の月」となっている(関東大震災大正12年9月1日)。地区長・班長の切り替え時を考えると他に選択肢は無い。
- Q2: 防災訓練は大地震を想定しているように見えるが、その他の災害に対してはどう考えているのか?
- A2: 震度5以上の震災と同等の被害が予想される災害に対し、自治会長が対策本部の設置などを決定し、連絡することになっている。新しい会員募簿「関ヶ谷地区災害対策本部の設置要綱」の項を参照。
- Q3: 防災チェックシートは良いものなのに、あまり利用されていないように思うが?
- A3: 良いし提案。自治会館にストックがあるので、是非活用願いたい。
- Q4: 災害が起きた時、安否確認は班長・地区長だけでは不在の場合もあり、対応できないのではないかと?
- A4: 「二」指図の通り、早急に複数体制等検討して強化を図りたい。防災VGは災害時、要援護者に対して、こまめに安否確認をする態勢を取っている。

お知らせ

平成29年度「防災ボランティアグループ」総会の案内

日時:平成29年1月21日(土)10:12時
場所:釜利谷西「ミューズ」ホール
(多目的室と中研修室)

報告者 防災VG 代表 徳田正彦

「熊本地震から学ぶ私たちにできること」

講演会の報告

日時:平成28年7月9日
場所:「いきいきセンター」1階

4月14日の熊本大地震から7ヶ月となります。熊本大分両県の被害状況は死者(含む関連死亡)百五名、避難者1,800名、住居被害1,8万4千2件。この地震発生後、多くのボランティアグループがボランティア活動に参入し、自主的そして自己責任を持って現地に参加しました。今回救援活動報告を伺ったボランティアの方々熱意がひびひと伝わってきました。これはボランティアの方々の生々しい活動報告であり、その中で特に素晴らしい活動(印象)をいくつか報告させていただきます。私達「防災VG」も参入できると共に出来る事を地道に積み上げていきたいと思えました。

①ボランティア報告者・金沢八景YMCA 井上孝一さん

- ★益城町総合運動公園に「テント広場」甲中泊の人が多数溢れており、想像以上でした。
- ★休日館に支援物資が溢れているが、仕分け等をする人手が足りなく、せつかくの支援物資が活用されていない状況があった。
- ★自主避難者(行政指定の避難所以外)には支援物資が届かなかった。この辺りも課題があった。
- ★心打たれたのは、熊本の人々は自身が被災者であるにも関わらず、救援活動を懸命にしていた。
- ★被災地から学ぶべきこと

②被災地から学ぶべきこと

- ★防災訓練・訓練のための訓練になっていませんか?実践のための訓練にすることが改めて肝要と感じた。
- ★災害時も平時も、備えただけの安心が担保されることを祈り、実践してほしい。
- ★もちろん、誰かに助けを求めるとは考えない、自立した備え(自助)が大切。
- ★日頃から近隣関係(お隣)のいい関係を築いておくことが最大の備えである。

③防災教育推進協会常務理事

元横浜女性消防員第1期生 斎好子さん
(全国初女性消防員 女性消防の草分け)

被災地から学ぶべきことをまとめてみました。

★どうも熊本県をはじめとして市町村等の行政は大規模地震を想定していないかという点は大災害は行政の覚悟の在り様によって、防災源の対応が異なる。

★100年に一度は100年先ではない。阪神大震災でやっけるーと聞いて改めておられないでほしい。

★被災地で先ず困るのはトイレです。朝起きて先ずトイレ活動するにも先ずトイレを使えから行動をする。日頃から非常実行するようになり。

★防災には事前の備えがとて大事。主を形骸化しないこと。

★随近の助け合いが一番大事と改めて実感した。

★金沢区何回か「1」もあり、埋め立て地区の液状化などで交通網の寸断が想定できる。

★「ライオン」は、徳田に「1ヶ月、1ヶ月半かかると、それは技術者も少なからずいるから。」

★「学ばずはいくつかの事」

★備えとして、増えが来ないため、ランタンを備えよ。

★非常食は物アレルギー対応(雑穀など)が大切。

★事前の備えが大事。備えが日々生かされていく。



防災ボランティア

防災ボランティア活動を下記のチームで行っています。一緒にやりませんか “会員募集中”

防火チーム、情報・通信・電気チーム、医療・介護チーム、食糧・物資チーム、防災資機材取扱チーム

連絡先 自治会館 784-4447

◎夏山町災害ボランティアネットワーク

丸 森 節 子

★地震は予測困難。想定外を想定する。事前準備をする。

★防災意識・教育・並行の啓蒙。互へから言われ引き継がれてきた「避難」が果たらずは「避難」は「避難」ではない。自助が助かる。

★大川小学校の避難。学校は安全との先生の思い込みで、近く避難所があるのに避難させず、多くの子供たちが犠牲に。H28 10月26日町会地帯で報告。講師の報告がでた。

★温かい食事：強化ナイロ、非常食非常食の提供が出来ない。この夏は強化ナイロ用の非常食を大量に持ちこたえて避難所へ。

★自主避難場所での情報の遮断。多くの情報が流れているが現地に入れない。知らないなどがあった。また、自分たちで発信できない。などあった。

◎東沢区災害ボランティアネットワーク

日本体育大学 五十嵐 祐希さん

★被災地へ入るには、事前調査が大事。グループ等何十種類の事前調査をした。

★ヘルプライン・アドバイザーが必要だ。

★水の補給は必ず取る。

★被災者の心の傷に精通する事が大事。

★時間の経過とともに優先を忘れていく。

★大卒にボランティア活動を認めない。ボランティア活動が出来ない。

★感謝の心、させてもらっている気持ちが大事。

★常日頃の行動を大事にする。非常口・階段・通廊等。平日は当たり前だが避難時、死傷の原因になるのが大問題。

★避難所生活で必要なものが大問題。

◎石巻市・区役所災害ボランティアセンター

上 野 真 子

非常用ポリ袋でご飯とカレーをお母さまとお子様ワイワイガヤガヤ楽しく作りました



災害時用ポリ袋を使って調理コラボ

防災VG 食事調理班 担当 大橋

今回は夏休みを利用して、青少年部(子供会)の若いお母様とお子様に災害時用ポリ袋を使った調理体験をしていただきました。

かわいいエプロンをつけたお子さんたちが一生懸命、慣れない手つきでお手伝いしてくれました。

初めての経験で、本当にポリ袋でご飯が炊けたり、カレーやプリンができるのか不安だったのではないかと思います。が、「おいしかった〜」の言葉がたくさん聞かれました。

皆様のおかげで、和やかに楽しく、また何よりも怪我もなく無事終了され、とてもうれしく思っております。

岡田沙都(4年生)

わたしは、この前、ほうさいのときのことで、ピニールぶくろで、ごはんを作るのに参加しました。作ったのは、カレーライスとプリンです。ほうさいのことで、なんでもだいたいピニールぶくろを使いました。

カレーライスは、ぶくろを2まいよういしてお米と野菜はべつべつぶくろにいれました。そのあとに、おなべのなかにはいったおゆの中に入れるので、少し変わったピニールぶくろで、やりました。

プリンはピニールぶくろに、たまごを入れて、それをみんなでもみました。それは、おとがなって、おもしろかったです。それも、おゆの中に入れるので、かわったぶくろです。できたら、食べました。美味しかったです。でも、プリンには少し

白いところが、のこっていたので、わたしはそんなに好きでは、ありませんでした。だけれど、それ以外は、おいしかったので、よかったです。

お知らせ 魔法の鍋帽子*講習会

防災VG 食事調理班

鍋にかぶせて置くだけで「エコでらくらくクッキング」

災害時にも役立ち、おいしく調理ができる「鍋帽子」を作り、それを使って調理しましょう。

日時 平成29年2月18日(土) 9時30分~14時00分

場所 釜谷西コミュニティハウス(山つばき研修室・和室)

参加費 2,200円(鍋帽子材料・調理材料費含む)

講師 横浜友の会講師

募集人数 先着12名

参加ご希望の方は、H29.2月10日(金)までに、お電話にてお申込みください。 防災VG 食事調理班 担当 柱本 783-7151

岡田あやな(2年生)

わたしはプリンをつくったことがなくて、火がついたおゆにいれたので、ほんとうにできるかなと思いました。でもとてもあまくておいしかったです。

あといろんなチームの人と、こうかんでできてとてもうれしかったです。



訓練はこれまでも数回行っていますが、改めては分かっていないつもりでも実際にやるとうるさく場面も少なくありませんでした。同じ作業を、他は反復しましたが、最初は消防署の指導なしにメンバーだけで行いましたが、消防署員からは何点かの指摘をいただき、ご自身は指摘されたことを修正しながら行いました。

なお、この消火栓は緊急時には飲料水としても利用することが出来ますので、スタンドパイプにはホースだけでなく蛇口も付属されています。一度体験してみたい方がおられましたら、「連絡いただければ次回に声を掛けさせていただきます」。

「防火チーム」報告

リーダー 小島真人

2月25日、今年2回目の消火訓練を行いました。

消防署と消防団から指導員に来ていただきました。

訓練の内容は消火栓マンホールを開けることから、消火栓の開け方、消火栓にスタンドパイプを接続させて、さらにスタンドパイプに消火ホースを接続する、という一連の作業に重点を置いて行いました。



『防災部・防災ボランティア今後の活動予定』

- 毎月開催:防災会議、防災ボランティア役員会
- 防火チーム: 11月17日 日産プレーカー等の打ち合わせ
- 地域拠点防災訓練/ハースル 11月26日:夏山・山の手・関ヶ谷
*防災VGの役員・各スキルチームから運営委員として参加
- 医療介護チーム:11月27日 医療介護研修
- 地域拠点防災訓練 12月3日:夏山・山の手・関ヶ谷合同
*自動車発電機(ビートル)の導入・情報通信電気チーム
- *ポリ袋を使った非常食(食料)物資チーム
- *防災VGの役員・各スキルチームから運営委員として参加
- 防災資機材チーム:12月14日 等乾電池を使用する資機材点検
1月発電機の作動点検
- 防災VG総会:1月21日:コミュニティハウスで開催
講演:秦 巧子氏(元横浜市消防局長):災害時私達は何ができるか
- 食料物資チーム:H29.2月18日『魔法の鍋帽子作りと調理』講習会
次回防災だより: H29. 2月15日予定

自防・共助・公助

11月20日

